

事業者向け 放課後等デイサービス・児童発達支援評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		利用定員は適切だが、待合スペースがない為、入れ替わり時の出入り口付近や、駐車場が混雑してしまう時があり、5分前入室のお願いと10分以内のフィードバックにするよう配慮しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準の職員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所内はバリアフリー化の配慮は出来ていないが、危険な箇所へはクッション性のもので出来るだけフラットな状態になるよう配慮しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員にPDCAサイクルについて、入社時の新人研修やマネジメント研修時に伝えています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			イベントや保護者勉強会においてはアンケート調査を実施し、改善すべき点を見直している。また保護者同室なので保護者の方との談話時間を設け保護者の意見を知る事ができています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		苦情やトラブルが発生した際は、マネジャー・所長に伝達し解決、改善はしています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部勉強会の開催や、外部研修への参加を積極的に行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントの時間を十分にとるように配慮し、利用者と保護者、一人一人のニーズに合わせて計画書を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを標準化して使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			計画書担当が活動の目標を決め、その目標を職員で共有しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			療育内容が固定化しないようミーティングなどで話し合いをして活動プログラムを見直しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日、休日、長期休暇に応じての課題は決めていないが、療育入る前に職員間で話し合いの場は設けています。

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の状況に合わせて、個別・集団活動の課題の両方を視野に入れ計画書を作成し、職員間で共有しています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼を毎日実施し、その日に行われる支援内容や業務の確認・報告を行っている。また、各担当が活動の留意点、計画書等を確認しています。またより良い支援を実施するために支援開始前は職員間で打ち合わせをしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			各担当が記録をとり、漏れが無いように気づいた点や保護者との話などを日々記録に記載し伝達がしっかりできるようにし、職員間で共有しています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			各担当者、管理者が記録をとれているか確認・チェックをしています。

⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回は必ず保護者の方と話をし、計画書の見直しを行うようになっています。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			管理者、児童発達支援管理責任者はガイドラインの総則を読み統一している。他職員にも読むように努めています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者、必要に応じて療育現場で担当している職員が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			電話連絡や見学、保育所等訪問支援を活用するなどして学校との情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的処置の必要な利用者の受け入れはしていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者からご相談された際に、児童発達支援管理責任者、管理者が利用機関と連携をとり情報共有しています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する利用児はいないです。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		特に受けていないです。	

連携	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	放課後児童クラブや児童館と交流する機会がないです。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			奈良県の自立支援協議会に児童発達支援管理責任者が委員として活動しています。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			伝えるべき点は療育の前後に伝え、療育終了後に子どもの状況をフィードバックし共通理解しています。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングは実施していないが、外部研修、書籍を読み保護者の対応力の向上を目指しています。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用を始める前に、重要事項説明書や契約書の説明を通して運営規定、支援内容、利用者負担等について伝えていきます。また療育室に提示し常に確認、質問ができるように配慮しています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、保護者の方からの子育て等の悩み、相談に応じています。必要に応じては、別に相談日を設け相談の場を提案する。特に難しいケースはミーティングを開き必要な支援を検討するようにしています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者向けの勉強会を実施し、勉強会後に茶話会を開催し、保護者同士のつながりの場を提供しています。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情が発生した場合は、内容を記録し管理者が迅速かつ適切に対応できるように努力しています。また解決が難しい場合はマネージャー、所長に報告し検討後、解決しています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にブログやホームページ、フェイスブックに事業所、会社についてアップしています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			書類に関してはシュレッター、FAX 等については名前や住所の一部を黒く塗りつぶすなど個人情報には十分注意しています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて目で分かりやすいように資料をお渡ししたり、内容を文章にまとめたりし情報伝達をしています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民との交流は実施出来ていないが、役場や保健センターの方と連絡をとり、地域とのつながりを深めていけるように努めています。
非常時	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。

等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を定期的に行うようになっています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員が虐待マニュアルを把握し、管理者が虐待についての研修に参加、職員への研修を実施しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行わないという方針のもと、職員の人員配置や専門性の向上を整えています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			療育中に飲食はしていないが、イベントの際は事前に調査確認し、詳しく保護者に確認のうえ食物アレルギーのある利用者に対し十分な配慮をしています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット、事故報告書などは発生後すぐに記載し、職員全員が共有できるように提示し、再度起きないように対策を考え意識するように心がけています。